年間授業計画

五日市　高等学校 令和６年度（１学年用）　　教科 国語　　科目　現代の国語

教　科：　教科 国語　　科　目：　現代の国語　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　A　組～　D　組

教科担当者：（　A組：高平　）　（　B組：高平　）　（　C組：高平　）　（　D組：高平　）

使用教科書：（ 東京書籍　新編現代の国語　　）

教科　国語　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】 これからの社会生活を送る上で必要な国語の知識や技能を理解し、活用している。

【思考力、判断力、表現力等】 他者や社会との関わりを通じ自他の考えを伝えあうとともに、それらを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】 社会生活における言語能力の重要性を深く認識するとともに、それらを磨き、自ら活用している。

科目　現代の国語　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	ルーブリック 評価基準・思考判断表現のところ	こそそめスープ（村田沙耶香） 自己を見つめる		○		【知識及び技能】 ・言葉には，認識や思考を支える働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え，要旨や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで筆者の気持ちの変化や考えを理解し，学習課題に沿って自分の考えをまとめ，話し合おうとしている。	○	○	○	4
	ネズミ色のイメージをマイナスからプラスに転じる論展開と、筆者が論拠としてあげる事例を把握する。	無彩の色（港千尋） 視野を広げる		○		【知識及び技能】 ・常用漢字の読みに慣れ，主な常用漢字を書き，文や文章の中で使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え，要旨や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで筆者の「灰色」に対する価値観や主張を理解し，学習課題に沿って色彩に対する自分の考えを深め，発表しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1
	東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。	水の東西（山崎正和） 他者に出会う			○	【知識及び技能】 ・文，話，文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え，要旨や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 比較を通じて粘り強く「東西」の文化の差異への理解を深め，今までの学習を生かして自分の興味や関心を他者に伝えようとしている。	○	○	○	4
	情報と想像力の関係を論じた文章を読み，意見の根拠を的確に理解して筆者の主張をつかむ。	未来を作る想像力（石田秀敬） 他者に出会う		○		【知識及び技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに，語句や語彙の構造や特色，用法及び表記の仕方などを理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え，要旨や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く筆者の考える「想像力」を理解し，学習課題に沿って実際の生活を見直し，情報社会における自己の在り方について考えを深め，話し合おうとしている。	○	○	○	5
	話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解する。 相手により伝わりやすい表現方法を理解する。	気になるニュースについて話そう	○			【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割，表現の特色を踏まえ，正確さ，分かりやすさ，適切さ，敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し，使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」において，目的や場に応じて，実社会の中から適切な話題を決め，様々な観点から情報を収集，整理して，伝え合う内容を検討している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に情報の収集や整理を行い，学習課題に沿って理解しやすい内容構成や展開を工夫して，自分の考えを発表し，論ずる活動をしようとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	自然や社会の中で生きる意味を考えながら働く筆者の思いに触れ，働くということについて考える。	森で染める人（鈴木菜々子） 視野を広げる 現代文B		○		【知識及び技能】 ・文，話，文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において，目的に応じて，文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら，内容や書き手の意図を解釈したり，文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに，自分の考えを深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く筆者の自然と融合した生き方に対する思いを理解し，学習課題に沿って自然や社会での仕事や生活について自分の考えを深め，発表しようとしている。	○	○	○	5
	自分の道を切り開いた筆者の体験談から，仕事に対する思いを読み取る。	鍋洗いの日々（村上信夫） 社会と関わる		○		【知識及び技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに，語句や語彙の構造や特色，用法及び表記の仕方などを理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え，要旨や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで筆者の体験談から筆者の仕事に対する思いを理解し，今までの学習を生かして職業について見聞きしたことを発表しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査						○	○		1
	筆者の少年時代の体験について書かれた文章を読み，自分に当てはめて考える。	ルリボシカミキリの青(福岡伸一) 社会と関わる			○	【知識及び技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに，語句や語彙の構造や特色，用法及び表記の仕方などを理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え，要旨や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く筆者の主張の要旨を捉え，今までの学習を生かして自分の興味・関心を確認し，考えをまとめ，伝えようとしている。	○	○	○	4
	海での漁の様子を伝える文章を読み，自然の中での労働について理解を深める。	真夏のひしこ漁（矢田勝美） 社会と関わる		○		【知識及び技能】 言葉には，認識や思考を支える働きがあることを理解している。常用漢字の読みに慣れ，主な常用漢字を書き，文や文章の中で使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において，目的に応じて，文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら，内容や書き手の意図を解釈したり，文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに，自分の考えを深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に漁をする父や弟の様子を通して自然や漁師について感じた筆者の思いを理解し，今までの学習を生かして読書を通して働く苦労や喜び，仕事のやりがいについて学ぼうとしている。	○	○	○	5
	発想を広げてアイディアを整理し，まとめる。	発想を広げる方法を使って話し合おう	○			【知識及び技能】 個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」において，自分の考えが的確に伝わるよう，自分の立場や考えを明確にするとともに，相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど，話の構成や展開を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで話し合いの題材を考え，学習課題に沿って発想を広げる話し合いをしながら自分の考えを広げ，場に応じた言葉遣いをしようとしている。	○	○	○	7
	定期考査						○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数
			話・聞	書	読					
3学期	人間の心・意識について体験を踏まえつつ考察する文章を読み，人間への認識を深める。	不思議な拍手（細馬宏通） 未来に目を向ける			○	【知識及び技能】 文，話，文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において，目的に応じて，文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら，内容や書き手の意図を解釈したり，文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに，自分の考えを深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に場面の様子を捉え，学習課題に沿って考えの進め方を整理し，本文中に挙げられている実験から，筆者が推測していることを理解しようとしている。	○	○	○	4
	「自立」の在り方について考察する文章を読み，自分の考えを持ち，視野を広げる。	真の自立とは（鷲田清和） 未来に目を向ける		○		【知識及び技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに，語句や語彙の構造や特色，用法及び表記の仕方などを理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 積極的に現代の状況に関心を持ち，筆者が述べる内容を理解し，自分の考えを深め，今までの学習を生かして「自立」という観点から他者と話し合いをしたうえで，自分の考えをまとめようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え，要旨や要点を把握している。	○	○	○	5
	発表の仕方や，話の聞き方を工夫する。	資料を活用して発表しよう	○			【知識及び技能】 個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」において，自分の考えが的確に伝わるよう，自分の立場や考えを明確にするとともに，相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど，話の構成や展開を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで話し合いの題材を考え，学習課題に沿って発想を広げる話し合いをしながら自分の考えを広げ，場に応じた言葉遣いをしようとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1
										合計 70

年間授業計画

五日市　高等学校 令和６年度（１学年用）　教科　国語　　科目 言語文化

教　科：　国語　　科　目：　言語文化　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　A　組～　D　組

教科担当者：　（　A組～D組：指田・片島・相澤　）

使用教科書：（ 数研出版 新編 言語文化　　）

教科　国語　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】　生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使用している。

【思考力、判断力、表現力等】　他者との関わりを通じ伝え合う力を高めるとともに、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】　他者との関わりにより自分の考えを深めながら、言語感覚を磨き、言葉を効果的に活用しようとしている。

科目　言語文化　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や豊かに想像したりする力を伸ばし、伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 五十音・歴史的仮名遣いと現代仮名遣い 【知識及び技能】 古典を読むために必要なきまりについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 決まりについて理解したうえで、応用問題にも対応できる。 【学びに向かう力、人間性等】 我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して社会と関わろうとする。	五十音・歴史的仮名遣いと現代仮名遣い・		○		【知識及び技能】 古典を読むために必要なきまりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 決まりについて理解したうえで、応用問題にも対応している。 【学びに向かう力、人間性等】 我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して社会と関わろうとしている。	○	○	○	6
	B 古文に親しもう 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章に表れているものの見方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して社会と関わろうとする。	「古文に親しもう」			○	【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章に表れているものの見方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して社会と関わろうとしている。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1
	C 伊勢物語 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品に表れているものの見方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 和歌に込められた心情を解釈し、現代に通ずる部分や相違点を考えることができる。	伊勢物語「芥川」			○	【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 作品に表れているものの見方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 和歌に込められた心情を解釈し、現代に通ずる部分や相違点を考えている。	○	○	○	15
	定期考査						○	○		1
2学期	D 羅生門 【知識及び技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品に表れているものの見方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に自らの作品世界を構築し、自分の考えを適切にまとめることができる。	芥川龍之介「羅生門」			○	【知識及び技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 作品に表れているものの見方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に自らの作品世界を構築し、自分の考えを適切にまとめている。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1
	E 沖縄の手記から 【知識及び技能】 語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、実際に使用することを通して語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方や考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 近現代に書かれた戦争文学を積極的に調査し、自分の考えをまとめることができる。	田宮虎彦「沖縄の手記から」			○	【知識及び技能】 語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、実際に使用することを通して語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方や考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 近現代に書かれた戦争文学を積極的に調査し、自分の考えをまとめている。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数
			話・聞	書	読					
3学期	F 訓読のきまり 【知識及び技能】 漢文を読むために必要なきまりについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 決まりについて理解したうえで、実際の文章にも対応できる。 【学びに向かう力、人間性等】 自作の問題を他者と共有し解き合うなど、きまりを深く理解し応用させることができる。	訓読のきまり		○		【知識及び技能】 漢文を読むために必要なきまりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 決まりについて理解したうえで、実際の文章にも対応している。 【学びに向かう力、人間性等】 自作の問題を他者と共有し解き合うなど、きまりを深く理解し応用している。	○	○	○	5
	G 故事と成語 【知識及び技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえ、内容の解釈を深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 故事成語の用例を調べることで、言葉がもつ価値への認識を深め、言葉を通して社会と関わろうとする。	故事と成語「虎の威を借る狐」			○	【知識及び技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえ、内容の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 故事成語の用例を調べることで、言葉がもつ価値への認識を深め、言葉を通して社会と関わろうとしている。	○	○	○	9
	定期考査						○	○		1
										合計
										70

年間授業計画

五日市　高等学校 令和６年度（１学年用）　教科　　地歴　　科目 地理総合

教　科：　地歴　　科　目：　地理総合　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　A　組～　D　組

教科担当者：（A・B・C・D組：高瀬景作）

使用教科書：（ 帝国書院　高等学校　新地理総合　　帝国書院　新詳高等地図　　）

教科　地歴　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史に関して理解し、様々な情報を調べまとめる技能を身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史の意義や意味概念などを多角的多面的に考察し、社会の諸問題を構想説明議論する力を養う

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりより社会の実現を主体的に解決する態度を養う

科目　地理総合　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題の取組を理解し、様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける	地理に関わる事象の意味や意義、相互関連を、位置や地域、自然環境などに着目して、概念などを活用して多角的・多面的に考察したり、地理的な課題の解決などを説明し、議論したりする力を養う	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に、課題について主体的に追及解決する態度を養い、日本国民としての自覚、世界の多様な生活文化を尊重することの大切さについての自覚を深める

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 地図や地理情報ｼｽﾃﾑで捉える世界 (1)地理や地理情報ｼｽﾃﾑと現代社会　【知識及び技能】 様々な地図の読図などにより、方位や時差などについて理解し、地図情報ｼｽﾃﾑなどを読み取る技術を見に付ける 【思考力、判断力、表現力等】　現代社会の地域構成について、多面的に表現でき、地図情報ｼｽﾃﾑの内容などの仕方を表現できる 【学びに向かう力、人間性等】　よりよい社会の実現にむけて課題を主体的に追及できる	・指導項目 地図上の位置と私たちの生活 時差と私たちの生活 ・教材 教科書、ワークシート、地図帳 まとめ用として一人１台端末の活用　など	【知識・技能】 指導内容・事項を理解している 【思考・判断・表現】 習得した知識・技能をつかい問題点を考察できる 【主体的に学習に取り組む態度】 社会問題を中心に積極的に思考できる	○	○	○	5
		・指導事項 地球儀と地図 身の回りの地図 地形図等の作成 地図情報ｼｽﾃﾑの活用 ・教材 同上	【知識・技能】 指導内容・事項を理解している 【思考・判断・表現】 習得した知識・技能をつかい問題点を考察できる 【主体的に学習に取り組む態度】 社会問題を中心に積極的に思考できる	○	○	○	6
		定期考査	定期考査	○	○		1
	A 地図や地理情報ｼｽﾃﾑで捉える世界 (2)ﾑと現代社会　【知識及び技能】 様々な地図の読図などにより、方位や時差などについて理解し、地図情報ｼｽﾃﾑなどを読み取る技術を見に付ける 【思考力、判断力、表現力等】　現代社会の地域構成について、多面的に表現でき、地図情報ｼｽﾃﾑの内容などの仕方を表現できる 【学びに向かう力、人間性等】　よりよい社会の実現にむけて課題を主体的に追及できる	・指導項目 GISの活用 現代世界の国家 日本の位置や領域 国家の結び付き ・教材ークシート、地図帳 まとめ用として一人１台端末の活用　など	【知識・技能】 指導内容・事項を理解している 【思考・判断・表現】 習得した知識・技能をつかい問題点を考察できる 【主体的に学習に取り組む態度】 社会問題を中心に積極的に思考できる	○	○	○	5
		・指導項目 貿易によって結び付く世界 世界を結び通信網の発達 観光のグローバル化 ・教材ークシート、地図帳 まとめ用として一人１台端末の活用　など	【知識・技能】 指導内容・事項を理解している 【思考・判断・表現】 習得した知識・技能をつかい問題点を考察できる 【主体的に学習に取り組む態度】 社会問題を中心に積極的に思考できる	○	○	○	6
		定期考査	定期考査	○	○		1
2学期	B 国際理解と国際協力 (1)地理や地理情報ｼｽﾃﾑと現代社会【知識及び技能】 地域の文化と自国の文化の重要性を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】　s世界の生活文化について理解し多角的に表現する 【学びに向かう力、人間性等】　よりよい社会の実現にむけて課題を主体的に追及できる　(2)地球的課題と国際協力　【知識及び技能】エネルギー問題などについて国際関係から理解し、国際協力の必要性を理解する　【思考力、判断力、表現力等】　地域の結び付きなどに着目し解決の方向性を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現にむけて課題を主体的に追及できる	世界の地形と人々の生活 世界の気候と人々の生活 世界の言語・宗教と生活 歴史的背景と人々の生活 ・教材 教科書、ワークシート、地図帳 まとめ用として一人１台端末の活用　など	【知識・技能】 指導内容・事項を理解している 【思考・判断・表現】 習得した知識・技能をつかい問題点を考察できる 【主体的に学習に取り組む態度】 社会問題を中心に積極的に思考できる	○	○	○	12
		定期考査	定期考査	○	○		1
		世界の産業と人々の生活 複雑にからみあう地球的画題 地球環境問題 資源エネルギー人口問題	【知識・技能】 指導内容・事項を理解している 【思考・判断・表現】 習得した知識・技能をつかい問題点を考察できる 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	12
		定期考査	定期考査	○	○		1
3学期	C持続可能な地域づくりと私たち 【知識及び技能】自然災害の重要性について理解している 【思考力】生活圏の課題について多角的に考察している 【学びに向かう力】よりよい社会の実現にむけて課題を主体的に追及できる	・指導項目 日本の自然環境 地震・津波と防災 火山災害・気象災害と防災 ・教材 教科書、ワークシート、地図帳 まとめ用として一人１台端末の活用　など	【知識・技能】 指導内容・事項を理解している 【思考・判断・表現】 習得した知識・技能をつかい問題点を考察できる 【主体的に学習に取り組む態度】 社会問題を中心に積極的に思考できる	○	○	○	19
		定期考査	定期考査	○	○		1
							合計
							70

年間授業計画

五日市　高等学校 令和6年度　　教科 公民　　科目 公共

教　科： 教科 公民　　科　目： 公共　　単位数： 2 単位

対象学年組：第　1 学年　A　組～　D　組

教科担当者：（A・B・C・D組：伊東）

使用教科書：　公共（実教出版、公共704）　　）

教科　公民　　の目標：

【知識及び技能】	選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目　公共　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。（知識・技能）	現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。（思考・判断・表現）	よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や，公共的な空間に生き国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。（主体的に学習に取り組む態度）

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第１章　社会を作る私たち ・自らの体験などを振り返ることを通して，自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解させる。 ・人間は，個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに，対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること，伝統や文化，先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して，自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解させる。 ・自分自身が，自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが，自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付くことについて理解させる。 ・社会に参画する自立した主体とは，孤立して生きるのではなく，地域社会などの様々な集団の一員として生き，他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し，表現させる。	１．生涯における青年期の意義２．青年期と自己形成の課題 ３．職業生活と社会参加 ４．現代社会と現代の生き方 ・教材ワークシート、まとめ用として一人１台端末の活用　など	【知識・技能】 指導内容・事項を理解している 【思考・判断・表現】 習得した知識・技能をつかい問題点を考察できる 【主体的に学習に取り組む態度】 社会問題を中心に積極的に思考できる	○	○	○	6
	第２章　人間としてよく生きる 第３章　他者とともに生きる ・人間は，個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに，対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること，伝統や文化，先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して，自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解させる。 ・選択・判断の手掛かりとして，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解させる。 ・現代の諸課題について自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を活用することを通して，行為者自身の人間としての在り方生き方について探求することが，よりよく生きていく上で重要であることについて理解させる。 ・人間としての在り方生き方に関わる諸資料から，よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し，読み取る技能を身に付けさせる。 ・倫理的価値の判断において，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し，自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け，思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して，人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し，表現させる。 ・各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して，人間の尊厳と平等，協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが，公共的な空間を作る上で必要であることについて理解させる。 ・人間の尊厳と平等，個人の尊重，自由・権利と責任・義務など，公共的な空間における基本的原理について理解させる。 ・公共的な空間における基本的原理について，思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して，個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し，表現させる。	１．古代ギリシアの人間観 ２．科学と人間 ３．自由の実現 ４．社会を作る人間 ５．人間と幸福 ６．公正な社会をめざして ・教材ワークシート、まとめ用として一人１台端末の活用　など	【知識・技能】 指導内容・事項を理解している 【思考・判断・表現】 習得した知識・技能をつかい問題点を考察できる 【主体的に学習に取り組む態度】 社会問題を中心に積極的に思考できる	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	第４章　民主社会の倫理 ・各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して，人間の尊厳と平等，協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが，公共的な空間を作る上で必要であることについて理解させる。 ・個人の尊重，民主主義，法の支配など，公共的な空間における基本的原理について理解させる。 ・公共的な空間における基本的原理について，思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して，個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し，表現させる。	１．人間の尊厳と平等 ２．自由・権利と責任・義務 ・教材ワークシート、まとめ用として一人１台端末の活用　など	【知識・技能】 指導内容・事項を理解している 【思考・判断・表現】 習得した知識・技能をつかい問題点を考察できる 【主体的に学習に取り組む態度】 社会問題を中心に積極的に思考できる	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	現代の民主政治と日本国憲法 ・法や規範の意義及び役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，憲法の下，適正な手続きに則り，法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し，個人や社会の紛争を調停，解決することなどを通して，権利や自由が保障，実現され，社会の秩序が形成，維持されていくことについて理解させる。 ・政治参加と公正な世論の形成，地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，よりよい社会は，憲法の下，個人が議論に参加し，意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解させる。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けさせる。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現させる。	１章　日本国憲法の基本的性格 ２章　日本の政治機構と政治参加 ・教材ワークシート、まとめ用として一人１台端末の活用　など	【知識・技能】 指導内容・事項を理解している 【思考・判断・表現】 習得した知識・技能をつかい問題点を考察できる 【主体的に学習に取り組む態度】 社会問題を中心に積極的に思考できる	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	現代の経済社会と国民生活 ・雇用と労働問題，財政及び租税の役割，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，市場経済の機能と限界，金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に，公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること，市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解させる。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けさせる。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現させる。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けさせる。	１章　現代の経済社会 ２章　日本経済の特質と国民生活 ・教材ワークシート、まとめ用として一人１台端末の活用　など	【知識・技能】 指導内容・事項を理解している 【思考・判断・表現】 習得した知識・技能をつかい問題点を考察できる 【主体的に学習に取り組む態度】 社会問題を中心に積極的に思考できる	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3学期	国際社会と人類の課題 ・国家主権，領土（領海，領空を含む。），我が国の安全保障と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，相互に対等なものとして尊重される主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割や領土が領空や領海を含むものであり，国民の基本的な生活を保障し資源を確保する領域であること，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について理解させる。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けさせる。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現させる。	１章　国際政治の動向と課題 ２章　国際経済の動向と課題 ・教材ワークシート、まとめ用として一人１台端末の活用　など	【知識・技能】 指導内容・事項を理解している 【思考・判断・表現】 習得した知識・技能をつかい問題点を考察できる 【主体的に学習に取り組む態度】 社会問題を中心に積極的に思考できる	○	○	○	19
	定期考査			○	○		1
							合計 70

年間授業計画

五日市　高等学校 令和６年度（１学年用）　教科　数学　　科目　数学Ⅰ

教　科：　数学　　科　目：　数学Ⅰ　　単位数：　3　単位

対象学年組：第　１学年　A　組～　D　組

教科担当者：（A組：西山、松谷）（B組：高橋、松谷）（C組：高橋、西山）（D組：高橋、松谷）

使用教科書：（ 最新 数学Ⅰ(数研出版)　　）

教科　数学　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】事象を数学的に考察する能力を高める。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し、それらを積極的に活用する態度を育てる。

科目　数学Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式，図形と計量，2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形する力，図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力を身に付ける。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元　数と式 【知識及び技能】 単項式や多項式，次数，係数，項について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 式の展開は分配法則を用いれば必ずできることを理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 単項式，多項式とその整理の仕方に関心をもち，考察しようとする。	数と式	【知識・技能】 単項式や多項式，次数，係数，項について理解しているか。 【思考・判断・表現】 式の展開は分配法則を用いれば必ずできることを理解できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 単項式，多項式とその整理の仕方に関心をもち，考察しようとしているか。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
	単元　実数 【知識及び技能】 有理数と無理数の違い，および実数について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 実数が数直線上の点として表されることを考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 循環小数を分数で表す方法に興味・関心をもつ。	実数	【知識・技能】 有理数と無理数の違い，および実数について理解しているか。 【思考・判断・表現】 実数が数直線上の点として表されることを考察できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 循環小数を分数で表す方法に興味・関心をもって取り組んでいるか。	○	○	○	10
	単元　１次不等式 【知識及び技能】 不等式の意味を理解し，数量の大小を不等式を用いて表すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 不等式の性質を，数直線と対応させて考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 不等式の性質から，１次不等式の解法を考察しようとする。	不等式	【知識・技能】 不等式の意味を理解し，数量の大小を不等式を用いて表すことができているか。 【思考・判断・表現】 不等式の性質を，数直線と対応させて考察できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 不等式の性質から，１次不等式の解法を考察しようとしているか。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
2学期	単元　集合と命題 【知識及び技能】 集合と命題に関する基本的な概念を理解し、表すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 集合の考えを用いて簡単な命題を論理的に考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 数の性質や図形の性質を取り上げ、命題として表現できる。	集合と命題	【知識・技能】 集合と命題に関する基本的な概念を理解し、表すことができているか。 【思考・判断・表現】 集合の考えを用いて簡単な命題を論理的に考察できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 数の性質や図形の性質を取り上げ、命題として表現できているか。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	単元　２次関数 【知識及び技能】 ｘの関数ｙが与えられたとき，ｘの値に対するｙの値を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な問題を，関数の式で表すことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 日常生活に見られる具体例から関数を見つけようとする。	２次関数	【知識・技能】 ｘの関数ｙが与えられたとき，ｘの値に対するｙの値を求めることができているか。 【思考・判断・表現】 身近な問題を，関数の式で表すことができているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活に見られる具体例から関数を見つけようとしているか。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
3学期	単元　図形と計量 【知識及び技能】 直角三角形においてsin𝜃，cos𝜃，tan𝜃の値を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 直接測ることのできない距離などの求め方を考えようとし，具体的な事象を三角比の問題として見ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 三角比の相互関係が鈍角のときも成り立つことを調べようとする。	三角比	【知識・技能】 直角三角形においてsin𝜃，cos𝜃，tan𝜃の値を求めることができるか。 【思考・判断・表現】 直接測ることのできない距離などの求め方を考えようとし，具体的な事象を三角比の問題として見ることができているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 三角比の相互関係が鈍角のときも成り立つことを調べようとしているか。	○	○	○	21
	定期考査			○	○		1
						合計	105

年間授業計画

高等学校 令和６年度（１学年用） 教科 数学 科目 数学Ａ

教 科： 数学　　科 目： 数学Ａ　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 Ａ 組～ Ｄ 組

教科担当者： （ Ａ組：三浦、小林博 ） （ Ｂ組：三浦、小林博 ） （ Ｃ組：三浦、小林博 ） （ Ｄ組：三浦、小林博 ）

使用教科書：（ 最新 数学 Ａ （ 数研出版 ） ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学と人間の活動の関係について認識を深め，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ａ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
「知識」に関しては，数学的活動を通して，既習の知識と関連付けながら，図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。また，「技能」に関しては，問題発見・解決の過程を一層自立的に遂行できるようにするために，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力，不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 集合の要素の個数 【知識及び技能】 場合の数について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。 【思考力、判断力、表現力等】 場合の数について事象を数学的に考察する能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 場合の数について、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。	第１章 場合の数と確率 １．集合 ２．集合の要素の個数 ３．樹形図、和の法則、積の法則 ・問題集、プリントの活用 等	【知識・技能】 集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則，積の法則などの数え上げの原則について理解している。 【思考・判断・表現】 事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 場合の数に関わる定理・公式のよさを認識し、それらを積極的に活用しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	B 順列 【知識及び技能】 順列の求め方について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。 【思考力、判断力、表現力等】 順列について事象を数学的に考察する能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 順列について、数学のよさを認識するとともに、それらを活用する態度を養う。	第１章 場合の数と確率 ４．順列 ５．円順列と重複順列 ・問題集、プリントの活用 等	【知識・技能】 具体的な事象を基に順列の意味を理解し、順列の総数を求める。 【思考・判断・表現】 事象の構造などに着目し、順列の総数を求める方法を多面的に考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 順列に関する定理・公式を導くことやそれらを活用した問題解決において、粘り強く考え，その過程を振り返って考察を深めたり評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	8
	C 場合の数と確率 【知識及び技能】 組合せの求め方について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。 【思考力、判断力、表現力等】 組合せについて事象を数学的に考察する能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 組合せについて、数学のよさを認識するとともに、それらを活用する態度を養う。	第１章 場合の数と確率 ６．組合せ ・問題集、プリントの活用 等	【知識・技能】 具体的な事象を基に組合せの意味を理解し、組合せの総数を求める。 【思考・判断・表現】 事象の構造などに着目し、組合せの総数を求める方法を多面的に考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 組合せに関する定理・公式を導くことやそれらを活用した問題解決において、粘り強く考え，その過程を振り返って考察を深めたり評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	D 確率 【知識及び技能】 確率について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。 【思考力、判断力、表現力等】 確率について事象を数学的に考察する能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 確率について、数学のよさを認識するとともに、それらを活用する態度を養う。	第１章　場合の数と確率 ７．確率の意味 ８．確率の計算 ９．確率の基本性質 １０．和事象の確率 １１．余事象の確率 ・問題集、プリントの活用　等	【知識・技能】 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率を求められる。 【思考・判断・表現】 確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 確率に関わる定理・公式のよさを認識し、それらを積極的に活用しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	E 確率 【知識及び技能】 確率について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。 【思考力、判断力、表現力等】 確率について事象を数学的に考察する能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 確率について、数学のよさを認識するとともに、それらを活用する態度を養う。	第１章　場合の数と確率 １２．独立な試行の確率 １３．反復試行の確率 １４．条件付き確率 ・問題集、プリントの活用　等	【知識・技能】 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率を求められる。 【思考・判断・表現】 確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 確率に関わる定理・公式のよさを認識し、それらを積極的に活用しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3学期	F 三角形の性質 【知識及び技能】 図形の性質について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。 【思考力、判断力、表現力等】 図形の性質について、事象を数学的に考察する能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 図形の性質について、数学のよさを認識するとともに、それらを活用する態度を養う。	第２章　図形の性質 １．角の二等分線と比 ２．三角形の外心、内心、重心 ３．チェバの定理、メネラウスの定理 ・問題集、プリントの活用　等	【知識・技能】 三角形に関する基本的な性質について理解している。 【思考・判断・表現】 図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見いだし,その性質について論理的に考察したり説明したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 図形の性質に関わる定理・公式のよさを認識し、それらを積極的に活用しようとしている。	○	○	○	10
	G 円の性質 【知識及び技能】 確率について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。 【思考力、判断力、表現力等】 確率について事象を数学的に考察する能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 確率について、数学のよさを認識するとともに、それらを活用する態度を養う。	第２章　図形の性質 ４．円周角の定理 ５．円に内接する四角形 ６．円と接線 ７．接線と弦の作る角 ８．方べきの定理 ９．２つの円 ・問題集、プリントの活用　等	【知識・技能】 円に関する基本的な性質について理解している。 【思考・判断・表現】 図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見いだし、その性質について論理的に考察したり説明したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 図形の性質に関わる定理・公式を導くことやそれらを活用した問題解決において、粘り強く考え、その過程を振り返って考察を深めたり評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
							合計 70

年間授業計画

五日市　高等学校 令和６年度（１学年用）　教科　理科　　科目 生物基礎

教　科：　理科　　科　目：　生物基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　Ａ 組～　Ｄ 組

教科担当者：（Ａ～Ｄ組：種村）

使用教科書：（ 高校生物基礎（実教出版）　　）

教科　理科　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】 自然の事物・現象に対する理科の見方・考え方を働かせ，基本的な知識と技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験などを行うことを通して，科学的に探究する能力と態度を育てる。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め，見通しをもって観察，実験などを行うことを通して，科学的に探究する能力と態度を育てる。

科目　生物基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象についての観察，実験などを行うことを通して，生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能が身に付いている。	生物や生物現象を対象に，探究の過程を通して，問題を見いだすための観察，情報の収集，仮説の設定，実験の計画，実験による検証，調査，データの分析・解釈，推論などの探究の方法が習得できている。また，報告書を作成したり発表したりして，科学的に探究する力が育まれている。	生物や生物現象に対して主体的に関わり，それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など，科学的に探究しようとする態度が養われている。その際，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度が養われている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元（生物の共通性と多様性） 【知識及び技能】 ・生物の共通性と多様性について，すべての生物で細胞が共通の構造であることを理解させる。・原核細胞と真核細胞の違いについて，それらの細胞に含まれる細胞小器官の違いとともに理解させる。・試料の採取，染色などを行い，光学顕微鏡で観察する技能を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・資料や実験をもとに，生物に共通する性質を見出し表現することができるようにさせる。 ・細胞におけるDNAのはたらきについて理解し，説明することができるようにさせる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生物の共通性を，実験や観察を通して見出し，理解しようとさせる。 ・原核細胞と真核細胞について，細胞に含まれる細胞小器官をもとに，違いを理解しようとさせる。	・生物の共通性と多様性 ・教科書、プリント、問題集 ・一人１台端末の活用　等	単元（生物の共通性と多様性） 【知識及び技能】 ・生物の共通性と多様性について，すべての生物で細胞が共通の構造であることを理解している。 ・原核細胞と真核細胞の違いについて，それらの細胞に含まれる細胞小器官の違いとともに理解している。 ・試料の採取，染色などを行い，光学顕微鏡で観察する技能を習得している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・資料や実験をもとに，生物に共通する性質を見出し表現することができる。 ・細胞におけるDNAのはたらきについて理解し，説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生物の共通性を，実験や観察を通して見出し，理解しようとする。 ・原核細胞と真核細胞について，細胞に含まれる細胞小器官をもとに，違いを理解しようとする。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	単元（生物とエネルギー） 【知識・技能】 ・さまざまな生物の比較に基づいて，生物は多様でありながら共通性をもっていることを見出して理解する。 【思考・判断・表現】 ・生物が共通性を保ちながら進化し多様化してきたこと，共通性は起源の共有に由来することを理解させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生物に共通する性質は細胞であることを理解させる。また，細胞にも原核細胞と真核細胞があることを細胞の内部構造とともに理解させる。	・生物の共通性と多様性 ・教科書、プリント、問題集 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 ・生命活動に必要なエネルギーを，呼吸や光合成から得ていることを理解している。 ・生体内で行われる化学反応は，酵素が触媒していることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・呼吸や光合成からエネルギーを得る方法を，ATPと関連づけて考察し，それを表現できる。 ・カタラーゼを用いた実験から，酵素の作用と作用する物質の関係について結果を導き出すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・資料に基づいて，生命活動にエネルギーが必要であることを理解しようとする。また，呼吸や光合成から得ていることを理解しようとする。 ・体内で行われる化学反応は，酵素が関わっていることを理解しようとする。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1

2学期	単元（遺伝情報とＤＮＡ） 【知識・技能】 ・DNAが二重らせん構造であること，2本鎖の塩基配列は相補的であることを理解させる。 ・ゲノム，遺伝子，染色体，DNAの関係を理解してさせる。 ・体細胞分裂が行われる際に，遺伝情報の同一性が保たれることを理解させる。・生物の組織からDNAを抽出する技能を習得させる。 【思考・判断・表現】 ・DNAが二重らせん構造であること，2本鎖の塩基配列は相補的であることを理解させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・DNAの性質や構造を，DNAの研究史とともに理解しようとさせる。 ・ゲノムと遺伝子，染色体，DNAの関係について理解しようとさせる。 ・細胞分裂の際に，DNAの塩基配列が正確に複製されるしくみを見出し，理解しようとさせる。	・生物の共通性と多様性 ・教科書、プリント、問題集 ・一人１台端末の活用　等	単元（遺伝情報とＤＮＡ） 【知識・技能】 ・DNAが二重らせん構造であること，2本鎖の塩基配列は相補的であることを理解している。 ・ゲノム，遺伝子，染色体，DNAの関係を理解している。 ・体細胞分裂が行われる際に，遺伝情報の同一性が保たれることを理解している。 ・生物の組織からDNAを抽出する技能を習得している。 【思考・判断・表現】 ・DNAが二重らせん構造であること，2本鎖の塩基配列は相補的であることを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・DNAの性質や構造を，DNAの研究史とともに理解しようとする。 ・ゲノムと遺伝子，染色体，DNAの関係について理解しようとする。 ・細胞分裂の際に，DNAの塩基配列が正確に複製されるしくみを見出し，理解しようとする。	○	○	○	8
	単元（遺伝情報とタンパク質の合成） 【知識・技能】 ・DNAの塩基配列に基づいて，タンパク質が合成されることを理解させる。 ・遺伝子の発現について理解し，細胞ごとに特定の遺伝子が発現することを理解させる。 【思考・判断・表現】 ・DNAの遺伝情報に基づいてタンパク質が合成される過程を体系的に考察し，表現できるようにさせる。 ・mRNAとアミノ酸との対応関係について，遺伝暗号表から読み解くことができるようにさせる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・DNAの塩基配列の情報に基づいて，タンパク質が合成されることを理解しようとさせる。	・生物の共通性と多様性 ・教科書、プリント、問題集 ・一人１台端末の活用　等	単元（遺伝情報とタンパク質の合成） 【知識・技能】 ・DNAの塩基配列に基づいて，タンパク質が合成されることを理解している。 ・遺伝子の発現について理解し，細胞ごとに特定の遺伝子が発現することを理解している。 【思考・判断・表現】 ・DNAの遺伝情報に基づいてタンパク質が合成される過程を体系的に考察し，表現できる。 ・mRNAとアミノ酸との対応関係について，遺伝暗号表から読み解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・DNAの塩基配列の情報に基づいて，タンパク質が合成されることを理解しようとする。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	単元（体内環境） 【知識・技能】 ・体内環境が一定の範囲に保たれることとその意味を理解させる。 【思考・判断・表現】 ・腎臓の働きについて体系的に理解し，ろ過・再吸収のしくみを説明することができるようにさせる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・肝臓や腎臓の機能を理解し，人体についての理解を深めようとさせる。	・生物の共通性と多様性 ・教科書、プリント、問題集 ・一人１台端末の活用　等	単元（体内環境） 【知識・技能】 ・体内環境が一定の範囲に保たれることとその意味を理解している。 【思考・判断・表現】 ・腎臓の働きについて体系的に理解し，ろ過・再吸収のしくみを説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・肝臓や腎臓の機能を理解し，人体についての理解を深めようとする。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3学期	単元（体内環境維持のしくみ） 【知識・技能】 ・神経やホルモンの働きにより体内環境が維持されることを理解させる。 ・からだの調節に関する観察，実験などを行い，体内での情報の伝達がからだの調節に関係していることを見出して理解することができるようにさせる。 【思考・判断・表現】 ・血糖濃度調節のしくみを，ホルモンと自律神経系の両方の働きから説明できるようにさせる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・観察，実験に基づいて，体内での情報の伝達がからだの調節に関係していることを見出し，理解しようとさせる。 ・資料に基づいて，ヒトの血糖濃度が調節されるしくみを見出し，理解しようとする。	・生物の共通性と多様性 ・教科書、プリント、問題集 ・一人１台端末の活用　等	単元（体内環境維持のしくみ） 【知識・技能】 ・神経やホルモンの働きにより体内環境が維持されることを理解している。 ・からだの調節に関する観察，実験などを行い，体内での情報の伝達がからだの調節に関係していることを見出して理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・血糖濃度調節のしくみを，ホルモンと自律神経系の両方の働きから説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・観察，実験に基づいて，体内での情報の伝達がからだの調節に関係していることを見出し，理解しようとする。 ・資料に基づいて，ヒトの血糖濃度が調節されるしくみを見出し，理解しようとする。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
						合計	
						70	

年間授業計画

高等学校 令和6年度（１学年用） 教科　保健体育　科目 体育

教　科： 保健体育　　科　目： 体育　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ D 組

教科担当者： 火曜日：森・近藤（彩）・保井　、　木曜日：森・加藤・板倉

使用教科書： 大修館書店 Active Sports　　）

教科　保健体育　　の目標：

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに，技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し，明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う

科目　体育　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的，計画的な実践を通して，運動の楽しさや喜びを深く味わい，生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため，運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに，それらの技能を身に付けることができる。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付けることが身に付けることができる。	運動における競争や協働の経験を通して，公正に取り組む，互いに協力する，自己の責任を果たす，参画する，一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに，健康・安全を確保して，生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養うことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	○体つくり運動 【知識及び技能】 ・体つくり運動の行い方，体力　の構成要素，実生活への取り入れ方を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・体つくり運動に主体的に取り組もうとしている。	・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動	○体つくり運動 【知識及び技能】 ・体つくり運動の行い方，体力の構成要素，実生活への取り入れ方を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・体つくり運動に主体的に取り組み、お互いに教え合おうとすることができる。	○	○	○	4
	○陸上競技・スポーツテスト 【知識及び技能】 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解するとともに、種目特有の技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に取り組むともに、勝敗などを受け止め、自己の課題に挑戦する姿勢を養う。	・短距離走、長距離走 ・やり投げ ・走り幅跳び	○陸上競技 【知識及び技能】 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解するとともに、種目特有の技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に取り組むともに、勝敗などを受け止め、自己の課題に挑戦する姿勢を身に付けることができる。				7
	○バスケットボール 【知識及び技能】 ・状況に応じたボール操作と空間を埋める動きによって攻防を展開することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に取り組むともに、フェアなプレーを大切にすることや、一人一人のプレイを大切にする姿勢を養う。	・シュート ・パス ・ドリブル ・3対3 ・5対5	○バスケットボール 【知識及び技能】 ・状況に応じたボール操作と空間を埋める動きによって攻防を展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に取り組むともに、フェアなプレーを大切にすることや、一人一人のプレイを大切にする姿勢を身に付けることができる。				7
	○水泳 【知識及び技能】 ・各泳法において手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり、速く泳いだりできるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各泳法における自己や仲間の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に取り組むとともに、自己の課題や挑戦を大切にしようとすることや、事故防止に関するし姿勢を養う。	・クロール　泳法 ・平泳ぎ　泳法	○水泳 【知識及び技能】 ・各泳法において手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり、速く泳いだりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各泳法における自己や仲間の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に取り組むとともに、自己の課題や挑戦を大切にしようとすることや、事故防止に関する姿勢を身に付けることができる。				6

2学期	○体つくり運動 【知識及び技能】 ・体つくり運動の行い方，体力　の構成要素，実生活への取り入れ方を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・体つくり運動に主体的に取り組もうとしている。	・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動	○体つくり運動 【知識及び技能】 ・体つくり運動の行い方，体力の構成要素，実生活への取り入れ方を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・体つくり運動に主体的に取り組み、お互いに教え合おうとすることができる。	○	○	○	2
	○水泳 【知識及び技能】 ・各泳法において手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり、速く泳いだりできるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各泳法における自己や仲間の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に取り組むとともに、自己の課題や挑戦を大切にしようとすることや、事故防止に関するし姿勢を養う。	・クロール　泳法 ・平泳ぎ　泳法	○水泳 【知識及び技能】 ・各泳法において手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり、速く泳いだりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各泳法における自己や仲間の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に取り組むとともに、自己の課題や挑戦を大切にしようとすることや、事故防止に関するし姿勢を身に付けることができる。				4
	○陸上競技 【知識及び技能】 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解するとともに、種目特有の技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に取り組むともに、勝敗などを受け止め、自己の課題に挑戦する姿勢を養う。	・持久走	○陸上競技 【知識及び技能】 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解するとともに、長距離走の技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に取り組むともに、勝敗などを受け止め、自己の課題に挑戦する姿勢を身に付けることができる。				8
	○サッカー 【知識及び技能】 ・状況に応じたボール操作と空間を埋める動きによって攻防を展開することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に取り組むともに、フェアなプレーを大切にすることや、一人一人のプレイを大切にする姿勢を養う。	・ドリブル ・パス ・シュート ・ミニゲーム	○サッカー 【知識及び技能】 ・状況に応じたボール操作と空間を埋める動きによって攻防を展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に取り組むともに、フェアなプレーを大切にすることや、一人一人のプレイを大切にする姿勢を身に付けることができる。				8
	○体育理論 【知識及び技能】 スポーツの技能や戦術と体力トレーニングの方法について理解させる。 【思考力、判断力、表現力】 スポーツの技術や戦術と体力トレーニングついて課題を発見し、よりよい解決に向けて思考判断し、他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組み、スポーツの技術や戦術、体力トレーニングについての学習に自主的に取り組む姿勢を身に付けさせる。	・運動・スポーツの学び方	○体育理論 【知識及び技能】 スポーツの技能や戦術と体力トレーニングの方法について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力】 スポーツの技術や戦術と体力トレーニングついて課題を発見し、よりよい解決に向けて思考判断し、他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組み、スポーツの技術や戦術、体力トレーニングについての学習に自主的に取り組むことができる。				6

3学期	○サッカー 【知識及び技能】 ・状況に応じたボール操作と空間を埋める動きによって攻防を展開することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に取り組むともに、フェアなプレーを大切にすることや、一人一人のプレイを大切にする姿勢を養う。	・ドリブル ・パス ・シュート ・ミニゲーム	○サッカー 【知識及び技能】 ・状況に応じたボール操作と空間を埋める動きによって攻防を展開することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に取り組むともに、フェアなプレーを大切にすることや、一人一人のプレイを大切にする姿勢を養う。	○	○	○	9
	○ダンス 【知識及び技能】 ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、交流や発表の仕方、課題解決の方法、体力の高め方を理解し、特有の表現や踊りを身に付けて交流や発表を行うことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 お互いに共感し高め合おうとすること、合意形成に貢献しようとすること、一人一人に応じた表現や役割を大切にできるようにする。	・基本動作 ・即興ダンス ・作品作り ・発表会	○ダンス 【知識及び技能】 ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、交流や発表の仕方、課題解決の方法、体力の高め方を理解し、特有の表現や踊りを身に付けて交流や発表を行うことができる。 【思考力、判断力、表現力】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 お互いに共感し高め合おうとすること、合意形成に貢献しようとすること、一人一人に応じた表現や役割を大切にできる。				9
							合計 70

年間授業計画

五日市　高等学校 令和６年度（１学年用）　教科　　保健体育　　科目　　保健

教　科：　保健体育　　科　目：　保健　　1　単位

対象学年組：第　１学年　A　組～　D　組

教科担当者：（　A組：森　）　（　B組：森　）　（ C組：保井 ）　（　D組：保井）

使用教科書：　（ 大修館書店　現代高等保健体育 ）

教科　　保健体育　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】自己の能力と各種の運動の特性に応じた技能を高め、運動の特性と合理的な行い方を理解し、知識を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】個人生活や社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断している。

【学びに向かう力、人間性等】運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう自ら進んで計画的に運動をしようとする。また、健康や安全に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとする。

科目　保健　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
健康・安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康、生涯を通じる健康及び社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身につけている。	個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に思考し、総合的に捉えることにより、適切な意志決定を行い、選択すき行動を適切に判断している。	個人の生活や社会生活における心身の健康や安全に関心を持ち,自ら健康で安心な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組もうとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 現代社会と健康 「健康の考え方と成り立ち」 ・様々な健康の考え方について例をあげて説明できる ・健康を成り立たせている要因について例をあげて説明できる。	教科書・学習プリント・ノート 今後私たちが取り組むべき健康の保持・増進のための行動について考える。	【知・技】 健康に関わる原則や概念を基に整理したり、課題を発見している。 【思・判・表】 我が国の死亡率・受療率・平均寿命・健康寿命などの指標や疾病構造の変化を通して国民の健康課題について理解したことを言ったり書いたりしている。 【学・人間性】 課題の解決に向けた学習主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	B 私たちの健康のすがた ・我が国の健康水準の変化とその背景について説明できる。 わが国の現在の健康問題について例をあげて説明できる。	教科書・学習プリント・ノート 健康普及のために日本で行われている対策を知り、国際的に行われている活動についても理解を深める。	【知・技】 健康水準の向上、疾病構造の変化に伴い、個人や集団の健康についての考え方の変化を理解している。 【思・判・表】 健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法をプリントに記述し、筋道を立てて説明している。 【学・人間性】 課題の解決に向けた学習主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	C 生活習慣病の予防 生活習慣病の種類と要因について説明できる。 生活習慣病の一次予防、二次予防について例をあげて説明できる。	教科書・学習プリント・ノート 生活習慣病を予防するために、どんな生活を過ごすことが必要か、いくかを考えさせる。	【知・技】 生活習慣病のリスクを軽減し予防するには、健康的な生活を続けることが必要であることを理解し、発言したり、記録している。 【思・判・表】 個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 【学・人間性】 生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	D　食事・運動・休養と健康 食事・運動・休養について説明できる。 健康と休養の関係及び適切な休養のとり方について説明できる。	教科書・学習プリント・ノート 食事・運動・休養の重要性を理解しする。	【知・技】 生活習慣病のリスクを軽減し予防するには、健康的な生活を続けることが必要であることを理解し、発言したり、記録している。 【思・判・表】 食事・運動・休養について、自他や社会の課題を発見し、整理している。 【学・人間性】 生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	E　喫煙・飲酒と健康 F　「感染症とその予防」 飲酒、喫煙、薬物乱用は健康にどのような悪影響を与えているかを、個人のレベルだけでなく、社会全体の問題として考えられるようにする。	教科書・学習プリント・ノート 喫煙者やその周囲の人に起こる害について説明できる。 飲酒による健康への短期的影響と長期的影響を説明できる。	【知・技】 喫煙・飲酒が心身の健康を損ねること、喫煙や飲酒による健康課題を防止するため、適切な対策が必要であることを理解している。 【思・判・表】 健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして課題を発見している。 【学・人間性】 喫煙、飲酒について課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	G　「性感染症・エイズとその予防」 H「欲求と適応機制」 欲求不満・不安・悩みなどの起こる原因・経過、健康な精神生活との関連などについて理解させる。	教科書・学習プリント・ノート 性感染症・エイズが他の感染症と異なる点について説明できる。 意思決定・行動選択に影響を与える要因について説明できる。	【知・技】 個人の取り組みが必要であり、エイズ及び性感染症についても、その原因・及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について、理解している。 【思・判・表】 感染症とその予防について、自他や社会の課題の解決方法と、選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【学・人間性】 現代の感染症とその予防について課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
3学期	I「心身の相関とストレス」 J「交通事故の現状、予防」 人間の精神と身体の関連、互いの変化の及ぼす影響を理解する。 交通事故による影響、特徴、対策を知り、交通事故を防ぐためにはどのような行動が必要であるかについて考える。	教科書・学習プリント・ノート 交通事故防止における個人の取り組みと交通環境の整備について例をあげて説明できる。	【知・技】 事故を防止したり、発生に伴う傷害等を軽減したりすることを目指し安全な社会の形成には、交通安全、防災、防犯などを取り上げて個人の取り組み、地域の連携が必要であることを理解している。 【思・判・表】 安全な社会作りについて、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 【学・人間性】 安全な社会づくりについて課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	K「応急手当、心肺蘇生法」 応急手当の手順を理解し、万が一の時にきちんと対応ができる能力を身につける。	教科書・学習プリント・ノート 応急手当の意義について説明できる。 傷病者を発見した時に、確認・観察するポイントをあげることができる。	【知・技】 心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、ＡＥＤの使用などが必要であること、及び方法や手順について、実習を通して理解したことを理解している。 【思・判・表】 応急手当について安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 【学・人間性】 応急手当について課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
							合計 35

年間授業計画

五日市　高等学校 令和６年度（１学年用）　教科　　芸術　　科目　音楽Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　音楽Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　A　組～　　D　組

教科担当者：（A組：　進　）　（B組：　進　）　（C組：　進　）　（D組：　進　）　（　組：　　）（　組：　　）

使用教科書：（ MOUSA１　　）

教科　芸術　　の目標：　芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】　芸術に関する各科目において、文化的・歴史的背景などとの関わりを理解するとともに、創意工夫を生かした表現をするための技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　自己のイメージを持ち、表現を工夫したり、多様な芸術作品のよさや美しさを深く味わうことができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造しようとする態度を養う。

科目　音楽Ⅰ　　の目標：　音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広くかかわる資質・能力を次の通り育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	・自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	・音楽の幅広い活動に主体的・協働的に取り組み、生涯にわたって音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 歌	表現 器	表現 創	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
１学期	A 表現 （1）歌唱 【知識及び技能】 ・音楽の構造と歌詞の関わりを理解し、曲想にふさわしい発声で歌う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・表現を工夫して表情豊かに歌う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・曲の雰囲気を味わい、主体的に表現しようとする。	校歌 四季の歌 日本歌曲 イタリア歌曲 ドイツ歌曲	○				【知識及び技能】 ・音楽の構造と歌詞の関わりを理解し、曲想にふさわしい発声で歌えているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・表現を工夫して表情豊かに歌えているか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・曲の雰囲気を味わい、主体的に表現しようとしているか。	○	○	○	16
１学期	A 表現 （2）器楽：ピアノ 【知識及び技能】 ・楽譜と鍵盤を照らし合わせ、音名と音高、音価を理解する。 ・ピアノの基本的な奏法を身に付け、簡単な旋律を演奏する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音名、音高、音価を理解し、楽器を用いて音で表すことができる。 ・音楽を構成する要素（リズムなど）を知覚し、ピアノで表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・リズムや音色を感じ取ろうと主体的に活動に取り組み、よりふさわしい表現を求めて工夫しようとする。	校歌 ポピュラー音楽 クラシック音楽 映画音楽　など		○			【知識及び技能】 ・楽譜と鍵盤を照らし合わせ、音名と音高、音価を理解しているか。 ・ピアノの基本的な奏法を身に付け、簡単な旋律を演奏できているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音名、音高、音価を理解し、楽器を用いて音で表すことができるか。 ・音楽を構成する要素（リズムなど）を知覚し、ピアノで表現できているか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・リズムや音色を感じ取ろうと主体的に活動に取り組み、よりふさわしい表現を求めて工夫しようとしているか。	○	○	○	14
２学期	A 表現 （2）器楽：ギター 【知識及び技能】 ・ストローク奏法を身に付け、表現を工夫して弾き歌いをする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・コードの響きや音色を知覚し、正確なリズムで演奏する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・リズムや音色を感じ取ろうと主体的に活動に取り組み、よりふさわしい表現を求めて工夫しようとする。	コード（C,D,G,Em,Am） 第三の男のテーマ 日曜日よりの使者 スピッツ など		○			【知識及び技能】 ・ストローク奏法を身に付け、表現を工夫して弾き歌いができているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・コードの響きや音色を知覚し、正確なリズムで演奏できているか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・リズムや音色を感じ取ろうと主体的に活動に取り組み、よりふさわしい表現を求めて工夫しようとしているか。	○	○	○	14
２学期	B 鑑賞 西洋音楽の歩み 【知識及び技能】 ・それぞれの音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音楽を形づくる要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・曲や演奏を評価しながら、音楽のよさや美しさを味わおうと主体的に聴く。	中世、ルネサンス、バロック、古典派、ロマン派、近現代、現代までを扱う。				○	【知識及び技能】 ・それぞれの音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音楽を形づくる要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考えているか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・曲や演奏を評価しながら、音楽のよさや美しさを味わおうと主体的に聴いているか。	○	○	○	16
３学期	A 表現 アンサンブルの楽しみ 【知識及び技能】 ・音楽を形づくる要素を知覚し、曲の特徴や構造を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・曲想や表現上の効果について考え、自らの役割を意識しながら表現を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・グループ内で互いの音や表現を尊重し話し合いながら、主体的に演奏を楽しむ。	ボディパーカッション ヴォイスパーカッション 器楽合奏	○	○	○		【知識及び技能】 ・音楽を形づくる要素を知覚し、曲の特徴や構造を理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・曲想や表現上の効果について考え、自らの役割を意識しながら表現を工夫しようとしているか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・グループ内で互いの音や表現を尊重し話し合いながら、主体的に演奏を楽しもうとしているか。	○	○	○	10
											合計 70

年間授業計画

五日市　高等学校 令和６年度（１学年用）　教科　芸術　　科目　美術Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　美術Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　A　組～　D　組

教科担当者：（A組：大橋）　（B組：大橋）　（C組：大橋）　（D組：大橋）　（　組：　）（　組：　）

使用教科書：（ 日文、高校生の美術 ）

教科　芸術　　の目標：　芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特徴について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目　美術Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
絵の具の混色	彫刻刀の使い方 浮彫技法	取り組み方 丁寧さ

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			絵・彫	デ	映						
1学期	A 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	○			○		○	○	○	
	鉛筆デッサン	幾何形体の鉛筆デッサン	○			○	形態をとらえ正確に表現する能力	○	○	○	6
	木彫	彫刻刀を使った浮彫表現。	○	○		○	デザインの良さ 彫刻刀の使い方 表面処理技術	○	○	○	24
2学期	デザイン表現	対象物のデザイン化 彩色・混色技法	○	○		○	デザインの良さ 彩色技術 混色技能	○	○	○	30
3学期	木工	使いやすさ 見た目のデザインの良さ 加工技術	○	○			デザインの良さ 持ちやすさ 使いやすさ	○	○	○	10
											合計 70

年間授業計画

五日市　高等学校 令和６年度（１学年用）　教科　芸術　　科目　書道Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　書道Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　A　組～　D　組

教科担当者：（A組：　鹿毛　）　（B組：　鹿毛　）　（C組：　鹿毛　）　（D組：　鹿毛　）　（　組：　　）（　組：　　）

使用教科書：（ 書Ⅰ　　）

教科　芸術　　の目標：　芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特徴について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目　書道Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
創意工夫を生かした表現をするために必要な技能	筆の使い方 様々な形式にあった技法	取り組み方 丁寧さ

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 漢仮	表現 漢	表現 仮	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	ひらがな・カタカナ・ローマ字の練習	・ひらがなとその字源を正しく、美しく書けるようにする。 ・カタカナ、ローマ字を正しく、美しく書けるようにする。			○			○	○	○	10
	楷書・行書の練習	・楷書、行書の筆順やへんとつくりについて学ぶ。 ・練習問題を通して、筆順や正しい書き方を理解する。	○					○	○	○	10
	履歴書の書き方	・履歴書や正式な書類に正しく美しく書けるようにする。		○	○			○	○	○	6
	喪中見舞いの書き方	・喪中見舞いの文を考え、正しく美しく書けるようにする。		○	○			○	○	○	4
2学期	・漢字仮名交じりの書の学習 ・仮名の連綿の学習 ・地名や漢数字を書く学習	・漢字仮名混じりの書の横書き、縦書きを学ぶ。 ・仮名の連綿を正しく美しく書く練習をする。 ・地名を行書及び楷書で、漢数字は正しい書き方を学ぶ。	○		○			○	○	○	16
	・封筒の宛名書きの学習 ・お礼状の書き方学習 ・掲示物の書き方学習 ・年賀状の書き方学習	・正しく美しく書けるように練習する。 ・楷書、行書、横書き、縦書きの書き方を練習する。		○	○			○	○	○	14
3学期	・友人や家族に手紙を書く	・文を自ら考え、美しく読みやすい字で手紙を書く。 ・色紙などに書く。		○	○			○	○	○	10
											合計 70

五日市　高等学校 令和６年度（1学年用）　教科　　外国語　　科目 英語コミュニケーションⅠ

教　科：　外国語　　科　目：　英語コミュニケーションⅠ　　単位数：　3　単位
対象学年組：第　１学年　A　組～　D　組
教科担当者：（　AB組：森塚/内野/朝夷）（　CD組：森塚/内野/朝夷 ）
使用教科書：（ COMET English Communication Ⅰ　　）
教科　外国語　　の目標：
【知　識　及　び　技　能】学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて，自分の意見を話す／書くことができる。
【思考力、判断力、表現力等】学習で扱う話題について興味をもち，簡単な語句や文を用いて、相手を意識してやりとりをすることができる。
【学びに向かう力、人間性等】テーマについて必要な情報を聞き取ったり、読み取ることができ、それらをふまえた上で自分の意見を書き、伝えあうことができる。
科目　英語コミュニケーションⅠ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
本文の内容について，学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて，自分の意見を話す／書くことができる。	本単元で扱う話題について興味をもち，簡単な語句や文を用いてやりとりをすることができる。その際に、読み手・利き手を意識した表現ができる。	本文に関連するテーマについて必要な情報を聞き取ることができ，聞いたことをふまえて自分の意見を書く／伝えあうことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	領域 読	領域 〔や〕話	領域 〔発〕話	領域 書	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	【COMET】 ・本単元で扱う話題に関連する語彙を身につけできるようにする。 ・本文の内容を読み，概要や要点を把握できるようにする。 ・本文で扱った言語材料(be動詞と一般動詞）を理解し，それを用いて正しい文を書き、その原稿をもとにやりとりをすることができるようにする。 ・本文に関連するテーマについて必要な情報を聞き取ることができ，聞いたことをふまえて自分の意見を書き、その原稿をもとに伝えあうことができるようにする。 【コーパス 1800】 英単語を意味を理解し、聞き取れ、正確に発音できるようにする。	【COMET】Pre-Lesson 【コーパス 1800】 Stage1 【Task】パフォーマンステスト	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容について，学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて，自分の意見を話す／書くことができる。 【思考・判断・表現】 本単元で扱う話題について興味をもち，簡単な語句や文を用いてやりとりをすることができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 本文に関連するテーマについて必要な情報を聞き取ることができ，聞いたことをふまえて自分の意見を書く／伝えあうことができている。	○	○	○	20
	定期考査			○			○		○	○	○	1
	【COMET】 ・本単元で扱う話題に関連する語彙を身につけできるようにする。 ・本文の内容を読み，概要や要点を把握できるようにする。 ・本文で扱った言語材料(過去形・進行形）を理解し，それを用いて正しい文を書き、その原稿をもとにやりとりをすることができるようにする。 ・本文に関連するテーマについて必要な情報を聞き取ることができ，聞いたことをふまえて自分の意見を書き、その原稿をもとに伝えあうことができるようにする。 【コーパス 1800】 英単語を意味を理解し、聞き取れ、正確に発音できるようにする。	【COMET】Lesson 1-2 【コーパス 1800】 Stage1 【Task】パフォーマンステスト	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容について，学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて，自分の意見を話す／書くことができる。 【思考・判断・表現】 本単元で扱う話題について興味をもち，簡単な語句や文を用いてやりとりをすることができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 本文に関連するテーマについて必要な情報を聞き取ることができ，聞いたことをふまえて自分の意見を書く／伝えあうことができている。	○	○	○	20
	定期考査			○			○		○	○	○	1

2学期	【COMET】 ・本単元で扱う話題に関連する語彙を身につけできるようにする。 ・本文の内容を読み，概要や要点を把握できるようにする。 ・本文で扱った言語材料(助動詞・不定詞）を理解し，それを用いて正しい文を書き、その原稿をもとにやりとりをすることができるようにする。 ・本文に関連するテーマについて必要な情報を聞き取ることができ，聞いたことをふまえて自分の意見を書き、その原稿をもとに伝えあうことができるようにする。 【コーパス 1800】 英単語を意味を理解し、聞き取れ、正確に発音できるようにする。	【COMET】Lesson 3-4 【コーパス 1800】 Stage2 【Task】パフォーマンステスト	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容について，学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて，自分の意見を話す／書くことができる。 【思考・判断・表現】 本単元で扱う話題について興味をもち，簡単な語句や文を用いてやりとりをすることができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 本文に関連するテーマについて必要な情報を聞き取ることができ，聞いたことをふまえて自分の意見を書く／伝えあうことができている。	○	○	○	20
	定期考査			○			○		○	○	○	1
	【COMET】 ・本単元で扱う話題に関連する語彙を身につけできるようにする。 ・本文の内容を読み，概要や要点を把握できるようにする。 ・本文で扱った言語材料(動名詞・that節）を理解し，それを用いて正しい文を書き、その原稿をもとにやりとりをすることができるようにする。 ・本文に関連するテーマについて必要な情報を聞き取ることができ，聞いたことをふまえて自分の意見を書き、その原稿をもとに伝えあうことができるようにする。 【コーパス 1800】 英単語を意味を理解し、聞き取れ、正確に発音できるようにする。 【Task】 パフォーマンステストに向けてターゲットとなる文法・表現を用いて英作文できるようにする。アイコンタクトや声の大きさ、ジェスチャーなど相手に伝えることを意識したアウトプットができるようにする。	【COMET】Lesson 5-6 【コーパス 1800】 Stage2 【Task】パフォーマンステスト						【知識・技能】 本文の内容について，学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて，自分の意見を話す／書くことができる。 【思考・判断・表現】 本単元で扱う話題について興味をもち，簡単な語句や文を用いてやりとりをすることができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 本文に関連するテーマについて必要な情報を聞き取ることができ，聞いたことをふまえて自分の意見を書く／伝えあうことができている。	○	○	○	20
	定期考査			○			○		○	○	○	1
3学期	【COMET】 ・本単元で扱う話題に関連する語彙を身につけできるようにする。 ・本文の内容を読み，概要や要点を把握できるようにする。 ・本文で扱った言語材料(現在完了・受動態）を理解し，それを用いて正しい文を書き、その原稿をもとにやりとりをすることができるようにする。 ・本文に関連するテーマについて必要な情報を聞き取ることができ，聞いたことをふまえて自分の意見を書き、その原稿をもとに伝えあうことができるようにする。 【コーパス 1800】 英単語を意味を理解し、聞き取れ、正確に発音できるようにする。	【COMET】Lesson 7-8 【コーパス 1800】 Stage3 【Task】パフォーマンステスト	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本文の内容について，学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて，自分の意見を話す／書くことができる。 【思考・判断・表現】 本単元で扱う話題について興味をもち，簡単な語句や文を用いてやりとりをすることができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 本文に関連するテーマについて必要な情報を聞き取ることができ，聞いたことをふまえて自分の意見を書く／伝えあうことができている。	○	○	○	20
	定期考査			○		○			○	○	○	1
												合計 105

年間授業計画

五日市　高等学校 令和６年度（１学年用）　教科　外国語　　科目 論理・表現Ⅰ

教　科：　外国語　　科　目：　論理・表現Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　A　組～　D　組

教科担当者：　（　AB組：本/森塚/中村）　（　CD組：本/森塚/中村）

使用教科書：（ VISTA Logic and Expression Ⅰ　）

教科　外国語　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて，自分の意見を話す／書くことができる。

【思考力、判断力、表現力等】学習で扱う話題について興味をもち，簡単な語句や文を用いてやりとりをすることができる。

【学びに向かう力、人間性等】テーマについて必要な情報を聞き取る/読み取ることができ，聞いたこと/をふまえて自分の意見を書く／伝えあうことができる。

科目　論理・表現Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
単元の内容について，学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて，自分の意見を書き／話すことができる。	本単元で扱う話題について興味をもち，学んだ表現を用いてやりとりをすることができる。	単元で扱う言語機能を使い生徒同士で発表を行い、聞いたことをふまえて自分の意見を伝えあうことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話[や]	話[発]	書	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	【VISTA・サブノート】 ・ブロック体の書き方の復習させる。 ・それぞれの品詞について役割と性質を理解できるようにする。 ・それぞれの品詞について役割と性質を理解できるようにする。 ・つなぎ言葉について理解できるようにする。 ・英語の語順について理解できるようにする。	【VISTA】Let's Start 1-4	○	○	○	○	○	【知識・技能】 単元の内容について，学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて，自分の意見を書き／話すことができる。 【思考・判断・表現】 本単元で扱う話題について興味をもち，学んだ表現を用いてやりとりをすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 単元で扱う言語機能を使い生徒同士で発表を行い、聞いたことをふまえて自分の意見を伝えあうことができる。	○	○	○	8
	【VISTA・サブノート】 ・現在形を理解できるようにする。 ・共感を示す表現を会話の中で使用できるようにする。	【VISTA】LESSON 1 【サブノート】LESSON 1	○	○	○	○	○	【知識・技能】 単元の内容について，学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて，自分の意見を書き／話すことができる。 【思考・判断・表現】 本単元で扱う話題について興味をもち，学んだ表現を用いてやりとりをすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 単元で扱う言語機能を使い生徒同士で発表を行い、聞いたことをふまえて自分の意見を伝えあうことができる。	○	○	○	8
	定期考査			○			○		○	○		1
	【VISTA・サブノート】 ・本単元で使用する新出の単語/フレーズを理解できるようにする。 ・ペアワークを通して本単元で学ぶ言語機能（発表の始めと終わり方）を理解できるようにする。 ・リスニングを通して本単元で学ぶ言語機能（発表の始めと終わり方）を理解できるようにする。 ・発表のための原稿を作成できるようにする。 ・本単元で学ぶ言語機能（発表の始めと終わり方）を意識して発表できるようにする。	【VISTA】LESSON 2 【サブノート】LESSON 2	○	○	○	○	○	【知識・技能】 単元の内容について，学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて，自分の意見を書き／話すことができる。 【思考・判断・表現】 本単元で扱う話題について興味をもち，学んだ表現を用いてやりとりをすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 単元で扱う言語機能を使い生徒同士で発表を行い、聞いたことをふまえて自分の意見を伝えあうことができる。	○	○	○	8
	【VISTA・サブノート】 ・本単元で使用する新出の単語/フレーズを理解できるようにする。 ・ペアワークを通して本単元で学ぶ言語機能（許可を求める）を理解できるようにする。 ・リスニングを通して本単元で学ぶ言語機能（発表の始めと終わり方）を理解できるようにする。 ・発表のための原稿を作成できるようにする。 ・本単元で学ぶ言語機能（許可を求める）を意識して発表できるようにする。	【VISTA】LESSON 3 【サブノート】LESSON 3	○	○	○	○	○	【知識・技能】 単元の内容について，学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて，自分の意見を書き／話すことができる。 【思考・判断・表現】 本単元で扱う話題について興味をもち，学んだ表現を用いてやりとりをすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 単元で扱う言語機能を使い生徒同士で発表を行い、聞いたことをふまえて自分の意見を伝えあうことができる。	○	○	○	8
	定期考査			○			○		○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	領域 読	領域 話[やり]	領域 話[発]	領域 書	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	【VISTA・サブノート】 ・本単元で使用する新出の単語/フレーズを理解できるようにする。 ・ペアワークを通して本単元で学ぶ言語機能（誘う/提案する・聴衆を引きつける）を理解できるようにする。 ・リスニングを通して本単元で学ぶ言語機能（発表の始めと終わり方）を理解できるようにする。 ・発表のための原稿を作成できるようにする。 ・本単元で学ぶ言語機能（誘う/提案する・聴衆を引きつける）を意識して発表できるようにする。	【VISTA】LESSON 4-5 【サブノート】LESSON 4-5	○	○	○	○	○	【知識・技能】 単元の内容について，学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて，自分の意見を書き／話すことができる。 【思考・判断・表現】 本単元で扱う話題について興味をもち，学んだ表現を用いてやりとりをすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 単元で扱う言語機能を使い生徒同士で発表を行い、聞いたことをふまえて自分の意見を伝えあうことができる。	○	○	○	10
	定期考査			○			○		○	○		1
	【VISTA・サブノート】 ・本単元で使用する新出の単語/フレーズを理解できるようにする。 ・ペアワークを通して本単元で学ぶ言語機能（メールのあいさつ・驚く）を理解できるようにする。 ・リスニングを通して本単元で学ぶ言語機能（発表の始めと終わり方）を理解できるようにする。 ・発表のための原稿を作成できるようにする。 ・本単元で学ぶ言語機能（メールのあいさつ・驚く）を意識して発表できるようにする。	【VISTA】LESSON 6-7 【サブノート】LESSON 6-7	○	○	○	○	○	【知識・技能】 単元の内容について，学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて，自分の意見を書き／話すことができる。 【思考・判断・表現】 本単元で扱う話題について興味をもち，学んだ表現を用いてやりとりをすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 単元で扱う言語機能を使い生徒同士で発表を行い、聞いたことをふまえて自分の意見を伝えあうことができる。	○	○	○	9
	定期考査			○			○		○	○		1
3学期	【VISTA・サブノート】 ・本単元で使用する新出の単語/フレーズを理解できるようにする。 ・ペアワークを通して本単元で学ぶ言語機能（理由を述べる）を理解できるようにする。 ・リスニングを通して本単元で学ぶ言語機能（発表の始めと終わり方）を理解できるようにする。 ・発表のための原稿を作成できるようにする。 ・本単元で学ぶ言語機能（理由を述べる）を意識して発表できるようにする。	【VISTA】LESSON 8 【サブノート】LESSON 8	○	○	○	○	○	【知識・技能】 単元の内容について，学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて，自分の意見を書き／話すことができる。 【思考・判断・表現】 本単元で扱う話題について興味をもち，学んだ表現を用いてやりとりをすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 単元で扱う言語機能を使い生徒同士で発表を行い、聞いたことをふまえて自分の意見を伝えあうことができる。	○	○	○	7
	【VISTA・サブノート】 ・本単元で使用する新出の単語/フレーズを理解できるようにする。 ・ペアワークを通して本単元で学ぶ言語機能（聴衆を引きつける）を理解できるようにする。 ・リスニングを通して本単元で学ぶ言語機能（発表の始めと終わり方）を理解できるようにする。 ・発表のための原稿を作成できるようにする。 ・本単元で学ぶ言語機能（聴衆を引きつける）を意識して発表できるようにする。	【VISTA】LESSON 9 【サブノート】LESSON 9	○	○	○	○	○	【知識・技能】 単元の内容について，学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて，自分の意見を書き／話すことができる。 【思考・判断・表現】 本単元で扱う話題について興味をもち，学んだ表現を用いてやりとりをすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 単元で扱う言語機能を使い生徒同士で発表を行い、聞いたことをふまえて自分の意見を伝えあうことができる。	○	○	○	7
	定期考査			○			○		○	○		1
												合計 70

高等学校 令和６年度（１学年用） 教科　情報　　科目 情報Ⅰ

教　科：情報　　科　目：情報Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　A　組～　D　組

教科担当者：（　A～C組：東濱　.（　D組：木元　丈　（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）

使用教科書：（ 情報Ⅰ　図解と実習　実習編、図解編　（日本文教出版）　　）

教科　情報　　の目標：

【知識及び技能】情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに，情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】情報と情報技術を適切に活用するとともに，情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目　情報Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用するとともに，情報社会に主体的に参画する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A単元「情報社会とわたしたち、問題解決実習」 【知識及び技能】 ・問題を発見・解決する方法や情報モラルについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題を発見・解決する方法や情報モラルについて考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・問題の発見・解決に向けて望ましい情報社会の構築に寄与しようとしている。	・情報社会を見渡してみよう	【知識・技能】 ・問題を発見・解決する方法について考えている。 【思考・判断・表現】 ・問題を発見・解決する方法や情報モラルについて考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報モラルに配慮して情報社会に主体的に参画しようとしている。 ・情報社会の問題解決を通じて、望ましい情報社会の構築に寄与しようとしている。	○	○	○	11
	定期考査		・考査までに実施した知識理解に関する内容を確認するテストを実施し、理解度を図る。	○	○		1
	B 単元「コミュニケーションと情報デザイン」 【知識及び技能】 ・コミュニケーション手段の特徴について科学的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーション手段の特徴について科学的に理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・効果的なコミュニケーションを行おうとする態度を養う。	・メディアとコミュニケーション ・情報デザイン ・情報のデジタル化	【知識・技能】 ・情報デザインの考え方や方法を理解するとともに、表現する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・情報デザインの考え方や方法に基づいて表現し、評価し改善することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報と情報技術を活用し、試行錯誤して効果的なコミュニケーションを行おうとしている。	○	○	○	11
	定期考査		・考査までに実施した知識理解に関する内容を確認するテストを実施し、理解度を図る。	○	○		1
2学期	B 単元「コミュニケーションと情報デザイン」続き						3
	C 単元「コンピュータとプログラミング」 【知識及び技能】 ・アルゴリズムを表現する手段について理解し技能を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じたアルゴリズムを考え適切な方法で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生活の中で使われているプログラムを見いだして改善することなどを通じて情報社会に主体的に参画しようとする。	・コンピュータのしくみ ・アルゴリズムとプログラミング ・モデル化とシミュレーション	【知識・技能】 ・アルゴリズムをフローチャートで表現する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・目的に応じたアルゴリズムを考え適切な方法で表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身近な問題を解決するプログラムを基に試行錯誤しながら粘り強く評価し改善しようとすることなどを通して情報社会に主体的に参画しようとしている。	○	○	○	18
	定期考査		・考査までに実施した知識理解に関する内容を確認するテストを実施し、理解度を図る。	○	○		1
	D 単元　「情報通信ネットワークとデータの活用」 【知識及び技能】 ・データを収集、整理、分析する方法について理解し技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・データの収集、整理、分析及び結果の表現の方法を適切に選択し、実行し、評価し改善する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・適切なデータの選択や、分析の仕方、解釈の仕方について、粘り強く取り組み、試行錯誤を通じて改善しようとしている。	・情報通信ネットワークのしくみ ・情報システムとデータベース ・データの活用	【知識・技能】 ・データを収集、整理、分析する一連のデータ処理の流れ及び、その評価について理解している。 【思考・判断・表現】 ・必要なデータ収集について、選択、判断し、それに応じて適切なデータの整理や変換の方法を判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・適切なデータの選択や、分析の仕方、解釈の仕方について、粘り強く取り組み、試行錯誤を通じて改善しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査		・考査までに実施した知識理解に関する内容を確認するテストを実施し、理解度を図る。	○	○		1
3学期	D 単元　「情報通信ネットワークとデータの活用」の続き						5
	一年間のまとめ。学び直しとしての入力練習。検定試験の準備		パソコン入力スピード検定の受験に向けて、１年間のタイピング練習の成果を出す。 【知識・技能】入力数【主体的に学習に取り組む態度】検定試験に臨む姿勢	○		○	5
	定期考査		・考査までに実施した知識理解に関する内容を確認するテストを実施し、理解度を図る。	○	○		1
							合計
							70

五日市　高等学校 令和５年度（１学年用）　教科　総合的な探究の時間　科目　総合的な探究の時間

教　科：　総合的な探究の時間　　科　目：　総合的な探究の時間　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　Ａ 組～　Ｄ 組

教科担当者：（Ａ組・B組・C組・D組：森雄二、高平澄佳、本宏樹、森塚創、萬結夢、進正裕、小林昌平、相澤瑞穂、中村俊佑）

使用教科書：（「人間と社会」（改訂版教科書）　　）

教科　総合的な探究の時間　　の目標：

【知識及び技能】地域の自然、産業、歴史などについて、また、進路について調査方法を知り、知識を深める。また、発表する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】地域の課題を考え、課題解決の方策をまとめて発表する。また、自身の進路についても考えを深める。

【学びに向かう力、人間性等】地域の課題解決や自身の進路にむけて主体的に取り組む姿勢を身に付ける。

科目　総合的な探究の時間　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地域の自然、産業、歴史などについて、また、進路について調査方法を知り、知識を深める。また、発表する技能を身に付ける。	地域の課題を考え、課題解決の方策をまとめて発表する。また、自身の進路についても考えを深める。	地域の課題解決や自身の進路にむけて主体的に取り組む姿勢を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元（地域探究） 【知識及び技能】 ・ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝを通して、探究の進め方を理解させる。 ・フィールドワークを通して、地域について理解させる。 ・パソコンの操作技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・フィールドワークを通して地域に対する理解を深め、課題について考えさせる。 ・ファールドワークの経験を発表させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・フィールドワークに対して主体的に取り組み、地域の課題を考える態度を身に付けさせる。	【地域探究】 ・第1～3回フィールドワーク（①林業、②国際マス釣り場、③大久野保育園・寺、④戸倉城山テラス） ・体験の言語化ワークショップ・ポートフォリオでの振り返り	単元（地域探究） 【知識及び技能】 ・ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝを通して、探究の進め方を理解している。 ・フィールドワークを通して、地域について理解している。 ・パソコンの操作技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・フィールドワークを通して地域に対する理解を深め、課題について考えることができる。 ・ファールドワークの経験を発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・フィールドワークに対して主体的に取り組み、地域の課題を考える態度を身に付けている。	○	○	○	20
	単元（自己探究） 【知識及び技能】 ・ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝを通して、自己探究の進め方を理解させる。 ・進路行事を通して、自己や進路について理解させる。 ・学び直しを実施する。 ・パソコンの操作技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・進路行事を通して進路に対する理解を深め、自身の進路について考えさせる。 ・進路行事や自己探究の経験をまとめ、振り返させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進路行事や自分自身に対して主体的に取り組み、自身の進路等を考える態度を身に付けさせる。	【自己探究・進路探究】 ・コミュニケーションワーク ・学び直し・基礎力診断テスト振り返り講演会（Classi使用） ・進路講演会（進路劇、学習法ガイダンス、Classi使用法） ・ジョブキャンプ（全員参加のインターンシップ） ・ビジネスマナー研修 ・国際理解講演会 ・あきる野市長講話 ・企業人講話	単元（自己探究） 【知識及び技能】 ・ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝを通して、自己探究の進め方を理解している。 ・進路行事を通して、自己や進路について理解している。 ・パソコンの操作技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・進路行事を通して進路に対する理解を深め、自身の進路について考えている。 ・進路行事や自己探究の経験をまとめ、振り返さりができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進路行事や自分自身にに対して主体的に取り組み、自身の進路を考える態度を身に付けている。	○	○	○	6
2学期	単元（地域探究） 【知識及び技能】 ・フィールドワークを通して、地域について理解させる。 ・パソコンの操作技能を身に付けさせる。 ・発表するための技能を身についてさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・フィールドワークを通して地域に対する理解を深め、課題について考えさせる。 ・ファールドワークの経験を発表させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・フィールドワークに対して主体的に取り組み、地域の課題を考える態度を身に付けさせる。 ・他の班やクラスの発表に耳を傾け、互いに知識や思考を深め合う態度を身に付けさせる。	【地域探究】 ・第4回フィールドワーク ・フォトワークショップ（1枚の写真から体験を言語化する） ・ポートフォリオまとめ ・成果発表準備（パワポ・発表原稿作成）	単元（地域探究） 【知識及び技能】 ・フィールドワークを通して、地域について理解している。 ・パソコンの操作技能を身に付けている。 ・発表するための技能を身についている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・フィールドワークを通して地域に対する理解を深め、課題について考えることができる。 ・ファールドワークの経験を発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・フィールドワークに対して主体的に取り組み、地域の課題を考える態度を身に付けている。 ・他の班やクラスの発表に耳を傾け、互いに知識や思考を深め合う態度を身に付けている。	○	○	○	22

	単元（自己探究） 【知識及び技能】 ・自分自身の興味や関心に基づいてた調べ学習を行うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己探究で調べたことをPowerPointなどにまとめることができ、発表させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自己探究に対して見通しを持って取り組み、他の発表を聞いてさらにより良くしていこうとする態度を身につけさせる。	【自己探究・進路探究】 ・インターンシップ振り返り ・ビジネスマナー研修 ・検定合格に向けたLiterasワークブックの取り組み ・マイストレンクスワーク（自分の長所を知る） ・職業模擬体験 ・企業人講話	単元（進路探究） 【知識及び技能】 ・テーマに関連した自己探究の調べ学習ができており、指定したスライドのまとめることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己探究で調べたことを指定したスライドに見やすくまとめることができ、全体にむけてわかりやすく発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・提出期日までにファイルを完成することができ、発表をする態度や聞く態度も良好である。	○	○	○	6
3学期	単元（地域探究） 【知識及び技能】 ・成果発表会に向けたスライドを作成することができる。 ・２学年の探究の授業のテーマに沿った、調べ学習をすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・成果発表会において、１年間の学習成果を踏まえた発表をすることができる。 ・２年生の学習を踏まえた調べ学習を、指定したスライドにまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・成果発表会に向けて主体的に取り組み、発表する態度を身に付けさせる。 ・他の班やクラスや学年の発表に耳を傾け、互いに知識や思考を深め合う態度を身に付けさせる。	【地域探究】 ・フィールドワークのまとめと発表練習 ・クラス内発表・学年発表・探究成果発表会	単元（地域探究） 【知識及び技能】 ・成果発表会に沿ったスライドの構成でファイルを作成することができ、指定した形で発表準備ができている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・発表内容として、１年間の取組を踏まえた発表となっており、地域の課題解決に向けて自己の興味や関心がどう生かせるかがわかるようなスライドとなっている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・成果発表会に向けて主体的に取り組み、発表する態度を身に付けている。また粘り強く取り組みながら、より良い発表にしていこうという態度を身に付けている。 ・他の班やクラスの発表に耳を傾け、互いに知識や思考を深め合う態度を身に付けている。	○	○	○	10
	単元（自己探究） 【知識及び技能】 ・将来の進路先について知識を増やす。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自身の希望進路に合わせて効果的なチャレンジプログラムを判断し実践する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自身の進路を考える態度を身に付けるために、専門学校チャレンジプログラムに主体的に取り組みさせる。	【自己探究・進路探究】 ・専門学校チャレンジプログラム ・学生図鑑ワークショップ（学生から学生生活・進学先での学びに関する話を聞く） ・資格取得・検定合格・コンテスト入賞に関する成果発表 ・進路目標到達度測定	単元（進路探究） 【知識及び技能】 ・将来の進路先について知識を増やすことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自身の希望進路に合わせてチャレンジプログラムから効果的なプログラムを判断し選択することができる。 ・進路行事の経験をまとめ、発表できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・専門学校チャレンジプログラムに主体的に取り組み、自身の進路を考える態度を身に付けている。	○	○	○	6
							合計 70